

起業創出検討会議
事業報告

あなたも郡中のまちで起業しませんか

暮らし起業を考える

ワークショップからまちを変える

(伊予市)
郡中まち元気推進協議会

会長 一色 克仁



◆民の力でまちを元気に

「郡中まち元気推進協議会」は、伊予市中心市街地である郡中地区の暮らしやすい街づくりを推進し、中心市街地の活性化を図る目的で、平成22年に(株)まちづくり郡中が設置した組織です。地元商店主や企業、ボランティア、自治会の代表など、民を中心とした多様な人々に加え、行政担当者も参画して活動しています。

◆郡中のまちでの「起業」

モノやサービスの売り買いを通して、人と人が出会う商店街はまちの元気の源です。

商店の減少とともに元気をなくしつつある郡中のまちを、もう一度未来志向で見直してみたい。そんな思いから「郡中まち元気推進協議会」において、平成27年に一年間をかけて、「暮らし起業を考える」ワークショップからまちを変える」と題した起業創出検討会議を

(公財)えひめ地域政策研究センターの支援も受けながら合計8回開催しました。

検討会議の表題にあ



ワークショップの説明

るキーワードの「暮らし起業」とは、今ある暮らしの価値を見直し、地域やそこに住む人にサービスや商品を提供する事象であり、私たちの暮らしにとっても身近な取り組みである「起業」のことを意味します。

◆起業創出検討会議と成果

起業創出検討会議においては、愛媛大学や(公財)えひめ産業振興財団、新聞社、NPOの専門家を招聘したワークショップ、勉強会、先進地視察を実施しました。

ワークショップでは、「郡中にふさわしい起業は？担い手は？」等について議論を行い、起業について、「だれもが気軽に立ち寄れるワンコインバー」「郡中のお宝、出汁文化をアピールする出汁の店」「山の幸・海の幸をいただく郡中コミュニティ食堂等、担い手として、元気な高齢者」「子育てが一段落した女性」「既存店の第2創業者(2代目3代目)等、郡中の住民が主体となるアイデアが提案されました。

また「起業したい人が現れた時、郡中に暮らす私たちにできる支援は？」というテーマで議論を深めるうち、参加者全員に「地元暮らしの一員として応援していきたい」という気持ちで醸成され、意識統一が図れたことが、この一年間の学びを通しての大きな成果となりました。



真剣な討論

起業創出検討会議の結果、起業希望者の発掘や起業者を支援する地元ネットワークの「暮らし起業応援隊」の結成、起業を後押しするための相談窓口の開設、家賃・店舗改修費補助等の「開業支援メニュー」の創設につながりました。

◆「郡中2000年祭」の開催に向けて

伊予市郡中は民の力でできた町です。平成29年に「郡中2000年祭」の開催を予定しています。2000年の町の歩みを学び合い、民が築いてきた町の歴史に誇りを持ち、郡中の名を広めながら、元気で暮らしやすい街を創っていくため、2000年前から続く民の力を基盤に「郡中2000年祭実行委員会」を設立し、開催に向けて様々な企画を進めています。

「継続は力なり」という言葉があります。「郡中まち元気推進協議会」はこれからも、もっとまちを元気に「暮らしやすく」を目標に、起業創出検討会議で話し合われたアイデアを基に、地元のネットワーク「暮らし起業応援隊」と連携し、起業希望者の発掘や支援など、郡中に元気を呼びこむ様々な活動に取り組んでいきます。